原高同窓會々報

題字は前同窓会会長門馬直孝氏

3月1日　月曜日
平成22年（2010年）

発行所
福島県立原町高等学校
同窓会
福島県南相馬市原町区西町3－380
電話　(0244) 23－6196
印刷所　有限会社ライト印刷

祝 ご卒業
きょう第六十二回卒業式

～「おおいなる力みなぎる」二三六名 今日 卒業式～

原町高等学校第六十二回卒業式が本日挙行されます。新たに新会員となった二三六名の皆様のご活躍をお祈り致します。

創立70周年記念式典　H21年9月5日㈯　南相馬市民文化会館「ゆめはっと」にて

今を真剣に生きる

同窓会会長
渡辺一成
（第14回卒）

晴れて本校を卒業される二三六名の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

皆さんの卒業証書の番号にもあるように、本校の卒業生は既に二万名を超え、国内外の各界各分野で活躍されている多くの同窓生がいます。私たちの大きな誇りであります。

昨年本校は創立七十周年を迎え、九月には記念式典や記念事業を執り行いました。式典や記念事業において皆様方の多大なご協力があったことに改めて感謝申し上げます。

ところで皆さんは原町高校での三年間でどのような経験をし、どのようなことを学ばれたでしょうか。心を許しあえる友達は見つかりましたか。先生方と深く話し合うことが出来たでしょうか。部活動は楽しかったですか。などなど様々なことが思い出されるかと思いますが、今はそれどころでない、明日からのことが気になっているというのが偽らざる心境かと思います。当時を振り返ると私も同じような思いをしたことが脳裏に浮かびます。

しかし、卒業から半世紀を経た私にとって原町高校の思い出はいつも懐かしくかつ勇気を与えてくれます。なぜなら卒業後の長い人生の中での多くの経験が、高校時代の辛い思い出をもいつのまにか角度を変えて見られるようになっているからです。多少は真剣に生きてきた証なのかも知れません。

さて、命には限りがあります。私たちは普段そのことを意識しないで暮らしています。しかし命には限りがある。そのことを想うと「今を真剣に生きる」大切さが分かります。私は母から「何時までもあると思うな親と金」と聞かされて育ってきましたが、同じような意味でもあります。

人生はよく言われるように自分探しの旅なのかも知れません。真剣に生きることで「未見の我」に出会うことが出来る。

「今を真剣に生きる」。皆さんのご健闘を祈り、この言葉を贈ります。

私たちに求められる力

校長　八巻義徳

常日頃のご支援とご協力に感謝申し上げます。

約20年前、タイ国で仕事をしておりました。その国で、2001年に改訂された高校段階の学習指導要領によって、必修の英語に加え、日本語が11言語とともに選択科目になりました。現在、タイ国は3ヶ月以上滞在する日本人が4万人、日本からの観光客が年間124万人になります。

今日、国境を越えて人や情報などが移動し、政治経済、技術などで、国と国との結びつきが深まり、国家の枠を超えた課題も増えています。こうした中で、民族、宗教、歴史などの異なる人が相互の価値観、宗教観、歴史観を踏まえた共存、共生が求められます。

世界には、多くの人がいます。日本を全く知らない人、日本が好きと感じても、好きと言えない人、日本に来たいと思っても、来られない人、日本語を勉強しても、日本を好きになれない人がいます。私たちはこの21世紀に生きています。

以前、経済協力開発機構（OECD）から、「21世紀の若者に身につけて欲しい力」が報告されました。そこには、ことなる言語や文化を持つ人と付き合う力、情報機器を活用できる力、自分の属する組織で、自分の判断基準を持つ力、課題解決に向けて、計画、実行する力、そして自分の意見を表明する力などとありました。これは、若者だけでなく、私も求められている力と感じました。

昨年9月、創立70周年記念で、石崎光夫氏（本校12回卒、元国際協力事業団東京国際研修センター所長）に「開発途上国の〝人づくり〟支援30余年の思いを語る」と題してご講演いただきました。在校生と一緒に21世紀に身に付けて欲しい力を20世紀に持っておられた先輩のお話でした。同窓会の皆様方の更なるご活躍を祈念申し上げて、挨拶に代えさせていただきます。

新名簿の発行を決議 21年度総会

平成二十一年五月二十三日㈯午後四時より、南相馬市の原ノ町駅前のホテルラフィーヌに於いて平成二十一年度福島県立原町高等学校同窓会総会が開かれました。渡辺一成会長の挨拶、来賓の箱崎俊一PTA会長、八巻義徳校長の祝辞の後、議事に入りました。協議内容は下記の通りです。

1　平成二十年度事業・決算報告

2　役員改選

本年度は任期二年の役員改選期に当たり、平成二十一・二十二年度の役員が選任されました。会長には渡辺一成会長が再任されました。

3　平成二十一年度事業計画・予算審議

同窓会報発行や名簿の改訂、新たな会費負担の検討、創立七十周年記念事業としての旧校舎跡地の表示が、今年度の事業として承認されました。

総会に続いて催された懇親会では、在校時への懐かしい思いと母校への熱い思いの中で、和気藹々と語らい、参加者全員による校歌の高らかな斉唱でお開きとなりました。

平成22年度
原町高等学校同窓会総会
5月22日㈯　於『ラフィーヌ』（原ノ町駅前）
多数のご参加をお待ちしています。
お問合せ　原町高等学校同窓会事務局
TEL 0244(23)6196　FAX 0244(23)7909